

- (3) 次に、「計算のきまり」の学習を生かして、わり算をかんたんに計算する方法についても考えました。



はなこ

計算のきまりを使って計算の仕方を工夫すると、商をかんたんに求められることがあったね。

はなこさんは、わり算のきまりを使って、 $54 \div 18$ を計算しました。

【はなこさんの考え】



はなこ

わり算では、「わられる数とわる数を同じ数でわっても商は変わらない」というきまりを使って計算します。

$$\begin{array}{rclcl} 54 & \div & 18 & = & 3 \\ \downarrow \div 6 & & \downarrow \div 6 & & \uparrow \\ 9 & \div & 3 & = & 3 \end{array}$$

54 と 18 をどちらも 6 でわると

$54 \div 6 = 9$ $18 \div 6 = 3$ になります。

$9 \div 3 = 3$ だから、 $54 \div 18 = 3$ になります。

あおいさんも、わり算のきまりを使って、 $72 \div 18$ を計算しました。

【あおいさんの考え】



あおい

わり算では、「わられる数とわる数を同じ数でわっても商は変わらない」というきまりを使って計算します。

$$\begin{array}{rclcl} 72 & \div & 18 & = & 4 \\ \downarrow \div 9 & & \downarrow \div 9 & & \uparrow \\ 8 & \div & 2 & = & 4 \end{array}$$

ア

【あおいさんの考え】のアにあてはまる説明を、【はなこさんの考え】と同じように、式と言葉を使って書きましょう。